

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

No. 0502028

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	9 障がい者支援の充実	事業優先度	B	
単位施策	1 自立支援対策の推進	政策事務分類	5 法定受託事務	
事業名	自立支援医療(更生医療)給付事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	給付対象人数		#N/A	
事業目標	全対象者への医療給付	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	2	関係例規・法令名	2 障害者自立支援法	
住民協働		関係個別計画名	1 障がい者計画	

全体計画		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	人工透析治療や手術で一定以上の回復が見込まれる方の医療費の一部を給付する	自立支援医療給付	自立支援医療給付	自立支援医療給付	自立支援医療給付	自立支援医療給付	
計 画 事 業 費	事業費(千円)	60,000	14,000	13,000	10,000	10,000	
	財源内訳						
	国庫支出金	30,000	7,000	6,500	5,000	5,000	
	道支出金	15,000	3,500	3,250	2,500	2,500	
	地方債	0					
	その他	0					
実 績 事 業 費	事業費(千円)	48,785	12,489	10,849	7,655	6,822	
	財源内訳						
	国庫支出金	27,860	6,250	6,940	4,105	4,183	
	道支出金	12,806	3,125	2,951	2,053	1,798	
	地方債	0					
	その他	0					
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) 国庫支出金 ・障害者自立支援医療 国庫負担金 道支出金 ・障害者自立支援医療 道費負担金	【評価・実績】	(実施内容等) 自律支援医療給付 (総合的なりハビリテーション医療である公費負担医療) ・対象者 13名  ※前年度評価結果 A-継続/拡充	(実施内容等) 自立支援医療給付 (総合的なりハビリテーション医療である公費負担医療) ・対象者 16名  ※前年度評価結果 A-継続/拡充	(実施内容等) 自立支援医療給付 (総合的なりハビリテーション医療である公費負担医療) ・対象者 17名  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 自立支援医療給付 (総合的なりハビリテーション医療である公費負担医療) ・対象者 22名  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続無し) (非登載事業)	年度目標値	13人	16人	全対象者への医療給付	全対象者への医療給付	全対象者への医療給付
		年度達成率	89%	83%	77%	68%	84%
		全体達成率	21%	39%	52%	63%	81%

事業名	自立支援医療(更生医療)給付事業	評価者	管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎佳之
		評価者	作成者 職氏名	社会福祉係長	磯田昭次

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	受給対象者数								
【抱える課題やニーズは】	障がい者の自立を求める意識が強まる一方で障がい者を取り巻く環境は未だ不利なものが多く、改善が求められている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	身体機能の回復や障がいの軽減に必要な医療費を支援し、日常生活能力の回復、向上を目指す。	① 受給対象者数	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	17名	実績値	17名	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	17名										
実績値	17名										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	身体機能の回復と障がいの軽減などで、日常生活等の支障が緩和される。	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	受給者証の発行	申請を受理、状況に応じて心身障害者総合相談所に判定依頼し、認定者へ受給者証を発行した。									
	医療費の支払い	医療機関では受給者証所持者の医療費の支払いを窓口で軽減し、その分を支払基金及び国保連合会へ請求、支払基金及び国保連合会が町へその医療費を請求し、町は支払処理を行った。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	障がい者の障害状態改善を図るため必要な医療費を給付し、障がい者の自立した日常生活及び社会参加が促されることから必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	対象者が医療費の軽減を受けられることで、治療を受け易くなり、自立の促進に繋がるため、目標は達成されているものと判断される。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	障害者福祉システムを活用し、事務の効率化を図った。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	法に基づき指定された医療機関以外は対象とならない場合があるが、世帯の所得に応じた負担額が定められていることから公平である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

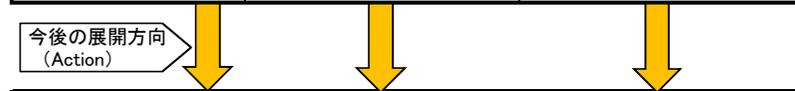
■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
障がい者への医療支援策として確立されており、社会参加の促進、日常生活の質の向上が図られていることから、計画どおり事業を進めることが適当である。		



継続/現状維持		
障害者自立支援法に基づく、自立支援医療の一つとして位置づけられている事業であり、医療の給付を希望する障がい者に対し継続して実施する。		

※展開方向の区分